

改善方策実施計画書 担当部局：書道研究所 責任者：書道研究所所長 幹事：書道研究所事務局

2010 年 7 月 16 日

認証評価指摘事項							
点検・評価問題点	書の学びやすい施設環境状況の利点についての、利用方法や情報内容の積極的な広報活動が、いまだ不十分である。						
改善方策	研究事業内容と研究所施設利用方法について、継続的に広報活動を行う。(7-21)						
計画	前期		中期		後期		
	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	
2010 年度実施計画		達成時期	2010 年度取り組み結果				
管理委員会・研究所施設利用状況調査		2011・3	○	A 完全に達成	B 達成半ば	C 未達成	
			(B または C の理由)				
2011 年度実施計画		達成時期	2011 年度取り組み結果				
研究所施設利用状況調査報告書作成 研究所環境整備委員会設置並びに委員の選出 研究所環境整備委員会現状調査報告書の検討		2011・9		A 完全に達成	○	B 達成半ば	C 未達成
		2011・10	(B または C の理由) 現状調査報告書内容の検討中である。				
		2012・3					
2012 年度実施計画		達成時期	2012 年度取り組み結果				
研究所利用規程 (案) 作成		2013・3		A 完全に達成	○	B 達成半ば	C 未達成
			(B または C の理由) 学生・外部の方が利用しやすいよう、シンプルな規程 (案) は作成した。				
2013 年度実施計画		達成時期	2013 年度取り組み結果				
研究所施設整備予算 (案) 作成 2013 年度中の上半期までに研究所事業内容・施設利用方法等についての広報活動システムの構築を図り、下半期で実践を行う。		2013・7		A 完全に達成		B 達成半ば	C 未達成
			(B または C の理由)				
2014 年度実施計画		達成時期	2014 年度取り組み結果				
				A 完全に達成		B 達成半ば	C 未達成
			(B または C の理由)				
2015 年度実施計画		達成時期	2015 年度取り組み結果				
				A 完全に達成		B 達成半ば	C 未達成
			(B または C の理由)				

改善方策経過報告書

認証評価指摘事項	
点検・評価問題点	書の学びやすい施設環境状況の利点についての、利用方法や情報内容の積極的な広報活動が、いまだ不十分である。
改善方策	教育事業や相互に関連した教育システムの内容と利用方法について継続的な広報活動を行う。(7-21)

(2011 年 3 月 31 日現在)

【現状の説明】

研究所所蔵の貴重図書資料を含め拓本の原拓資料など、研究調査に繋がる利用方法情報などが、講座などの実施を通じて徐々に浸透してきた。

講座資料への所蔵等の掲載や、学外の美術館等の企画展への貸出等によって、当研究所の所蔵資料内容と資料的価値が徐々に浸透してきている。

所見	教育研究などに関する広報活動が進展していることは評価できます。社会との文化交流を目的とした教育システムが一層充実することを期待します。
----	---

(2012 年 3 月 31 日現在)

【現状の説明】

研究所所蔵貴重図書資料・拓本原拓資料に加え、学外からの寄贈貴重図書（松井文庫）の整理も 2012 年度に進めることも含め、これらの資料が更に教育研究分野で有意義に生かされるためのデータベース化の実現にむけて、現在検討を進めている。

所見	データベース化の取り組みと並行し、2012 年以降、広報システム確立の為に具体的な取り組みが行われ、2013 年に実施されることを期待します。
----	---

(2013 年 3 月 31 日現在)

【現状の説明】

寄贈図書は、図書館の協力を経て、松井文庫として設置することができた。現在、文庫に付随した拓本資料の整理を行っている。

所見	計画最終年度として、データベース化が完了し、教育研究分野で資料が生かされる基盤を確立することを切に望みます。
----	--

改善方策実施計画書 担当部局：書道研究所 責任者：書道研究所所長 幹事：書道研究所事務局

2010年7月16日

認証評価指摘事項						
点検・評価問題点	年々増大化傾向にある貴重作品資料・書籍関係資料等の整理分類やデータベース化などの整備が、現状の人的構成の限度から、進んでいないところに問題がある。					
改善方策	書籍関係のデータベース化について、総予算の枠において優先的に計上する。(7-22)					
計画	前期		中期		後期	
	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
2010年度実施計画			達成時期	2010年度取り組み結果		
・管理委員会・研究所資料等整備委員会設置の検討 ・研究所資料等整備委員会委員の選考			2011・2	○ A 完全に達成	B 達成半ば	C 未達成
			2011・3	(B または C の理由)		
2011年度実施計画			達成時期	2011年度取り組み結果		
・研究所資料等整備についての検討			2011・12	A 完全に達成	○ B 達成半ば	C 未達成
				(B または C の理由) 膨大な資料なため、現在もその整備方法については検討しているが、ある程度の方向性は定まってきた。		
2012年度実施計画			達成時期	2012年度取り組み結果		
・研究所資料等整備(案)作成 ・研究所資料等整備予算(案)作成 ・2013年度事業計画(案)並びに予算(案)に計上			2012・7	○ A 完全に達成	B 達成半ば	C 未達成
			2012・10	(B または C の理由)		
			2012・11	整備(案)の作成と予算(案)は2013年度予算に計上することができた。		
2013年度実施計画			達成時期	2013年度取り組み結果		
				A 完全に達成	B 達成半ば	C 未達成
				(B または C の理由)		
2014年度実施計画			達成時期	2014年度取り組み結果		
				A 完全に達成	B 達成半ば	C 未達成
				(B または C の理由)		
2015年度実施計画			達成時期	2015年度取り組み結果		
				A 完全に達成	B 達成半ば	C 未達成

改善方策経過報告書

認証評価指摘事項	
点検・評価問題点	年々増大化傾向にある貴重作品資料・書籍関係資料等の整理分類やデータベース化などの整備が、現状の人的構成の限度から、進んでいないところに問題がある。
改善方策	書籍関係のデータベース化について、総予算の枠において優先的に計上する。(7-22)

(2011 年 3 月 31 日現在)

【現状の説明】

寄贈図書を含め書籍関係のデータベース化にむけて、内容の精査を行っている。これを受けて、予算を作成また 23 年度 4 月から専任研究員 1 名が採用されたことにより、データベース化に向けての作業日程の目安ができた。

所見	計画とおりに着実に進んでいることは評価できます。
----	--------------------------

(2012 年 3 月 31 日現在)

【現状の説明】

2012 年度当初に行う寄贈貴重図書（松井文庫）を含め、研究所の書籍関係のデータベース化に向けて、随時検討を進めている現状である。

所見	予定通りに 2013 年度に研究所資料等整備が進み、2014 年度予算に計上できることを期待します。
----	--

(2013 年 3 月 31 日現在)

【現状の説明】

寄贈図書は、図書館の協力を経て、松井文庫として設置することができた。現在、文庫に付随した拓本資料の整理を行っている。

所見	計画通りに実行できたことは大変評価できます。
----	------------------------